

# 農作物生育概況

令和4年6月24日現在

## <作物>

- 水 稲：6月20日時点では、生育はやや遅れていたが、6月27日に梅雨明けし、その後も気温は高温で推移していることから、今後は生育が前進することが見込まれる。  
中干しは6月末から開始されており、7月上旬には概ね多くの地域で実施される予定である。
- 小 麦：全般に生育は良好であるが、融雪の遅れから成熟期は平年よりやや遅れており、収穫作業は7月上旬から開始される見込みである。

## <果 樹>

- 全 般：平年より早い梅雨明けにより、高温・干ばつに対する注意喚起を行っている。
- りんご：仕上げ摘果（満開後60日頃まで）時期となっている。一部で凍霜害や受粉不良による変形果や一部の品種で胴サビが散見されるが、摘果で対応可能である。  
梅雨明け前後で気温が上昇したため、ハダニ類やシンクイムシ類の防除についても指導している。
- ぶどう：6月前半が低温で推移したため、開花は当初の見込みより遅れ、「シャインマスカット」で6月20日頃（平年比+5日）となった。6月後半は一転して気温が上昇し、生育が一気に進んでいる。
- 核果類：プラムは6月26日頃から「大石早生」の収穫が始まった。  
もも・ネクタリンは早い品種で7月半ばからの収穫を見込んでいる。「川中島白桃」などで袋掛けが進んでいる。
- な し：「南水」の結実が良くなかった園地などで新梢が繁茂している園地が散見されており、夏期管理の指導を行っている。

## <野 菜>

- アスパラガス：露地の春どりは6月上旬で収穫を打ち切り、立茎が始まった。半促成栽培ではほぼ立茎が終了し、早いところで夏芽の収穫が始まった。
- 白ネギ：定植後1~2か月経過し、生育はほぼ順調。早期に梅雨明けに対する管理について指導を行っている。
- 果菜類：露地きゅうりはJA中野市で6月13日から出荷が始まった。  
ズッキーニも6月上旬から出荷が始まり、一部果実表面の黄化・陥没が見られた。

## <花 き>

- シャクヤク：6月中旬に出荷が終了し、株養成開始。本年は凍霜害の影響はなく、品質良好であった。輸入切り花の減少による国内産需要や量販向けの出荷も増加している。  
梅雨時期の降雨が少なく、病害も発生は少ない。

トルコギキョウ：季咲き作型では花蕾整理作業中。早い作型、品種では、5月25日から出荷が始まっているが、朝晩の気温が低かったことから生育は5～7日程度遅れている。梅雨明けと同時に日射が強くなり、ブラスチングの発生が懸念されるため遮光資材等で適宜遮光するよう指導を行っている。